

3. 水はどこを… 通ってくるの？

川で行われた大きな工事



はいすいち どうすいる さつないがわどうすいる
配水池に水を送る導水路（札内川導水路）。

川につながる
ふだんの暮らし



はいすいち まくべつ
水をためておく配水池（幕別ダムすぐ下流）。

川につながる農業

（1）地面の下の用水路

川から取られた水は、導水路を通るなどして地域別に造られた配水池＝ファームポンドに送られます。

配水池には水がたくわえられ、必要な時に用水路（送水路や配水路）を通して畑に水が配られます。

こうした畑用の用水路は、最近では土の中にうめられるようになりました。（→ 水田の用水路 p81）



ようすいる 空気ぬきの管
用水路の空気ぬき用の管（左は配水幹線の、右は導水路の空気ぬき用管）。

川につながる農業

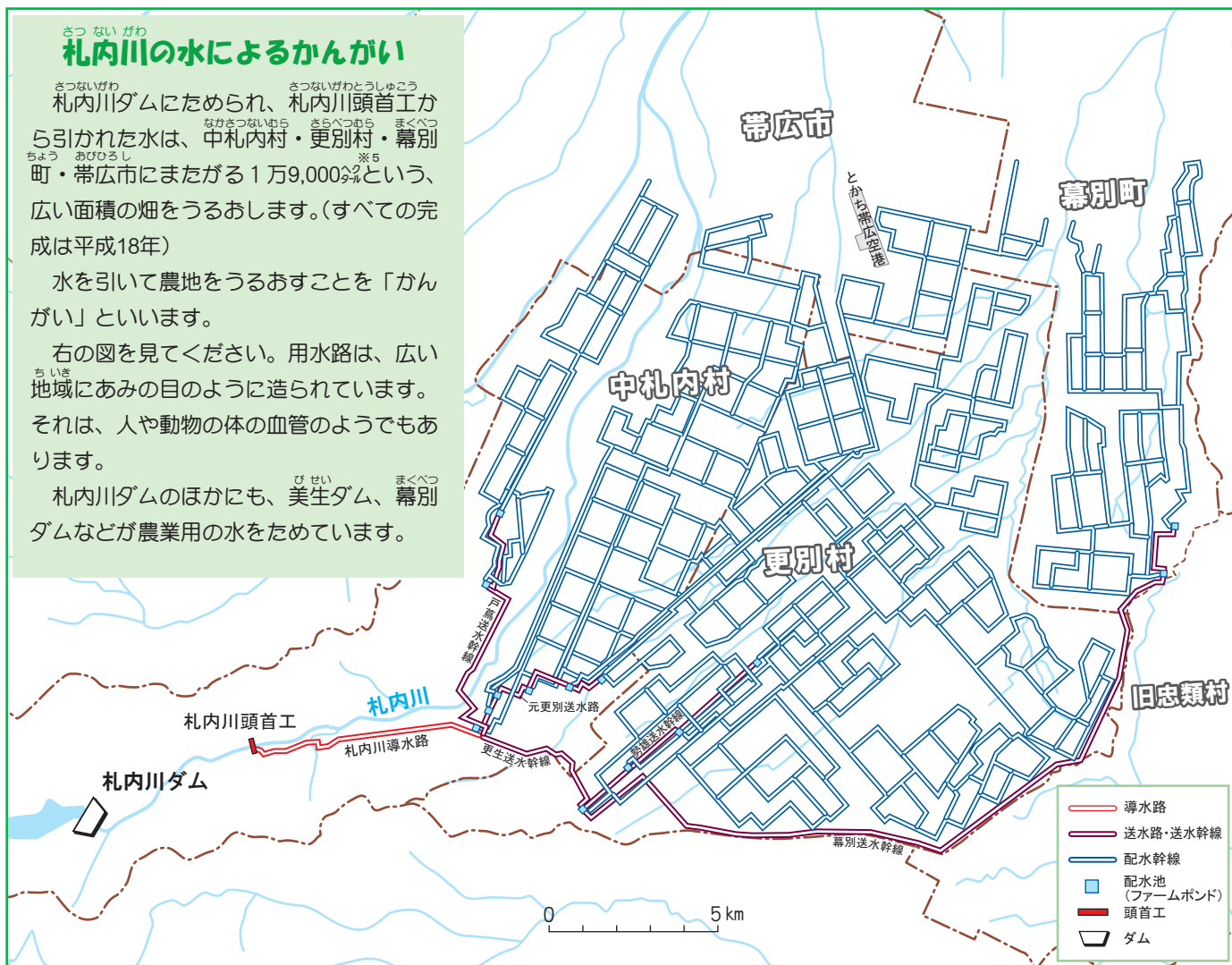
札内川の水によるかんがい

札内川ダムにためられ、札内川頭首工から引かれた水は、中札内村・更別村・幕別町・帯広市にまたがる1万9,000haという、広い面積の畑をうるおします。（すべての完成は平成18年）

水を引いて農地をうるおすことを「かんがい」といいます。

右の図を見てください。用水路は、広い地域にあみの目のように造られています。それは、人や動物の体の血管のようでもあります。

札内川ダムのほかにも、美生ダム、幕別ダムなどが農業用の水をためています。



付録

※1 導水路（どうすいる）：水を導くための道。この場合は川から取った水を分けるまでの水路。
 ※2 配水池（はいすいち）：水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように

に水をためておく池。農業用の場合、ファームポンドともいう。
 ※3 送水路・送水幹線（そうすいる・そうすいかんせん）：導水路から分かれて配水池まで水を送る水路。